



主催：信州大学 附属次世代型学び研究開発センター (R FabLab長野 FabLab Nagano) 協力：長野県教育委員会、(株)アソビズム、MITメディアラボ・ライフロンギンダーガーテングループ

育成塾通信 No17. 2021.9.27発行

育成塾とは、国立研究開発法人 科学技術振興機構による「科学技術イノベーションを牽引する傑出した人材の育成に向けて、理数・情報分野の学習等を通じて、高い意欲や突出した能力を有する小中学生を発掘し、さらに能力を伸長する体系的育成プランの開発・実施を行うことを支援」するジュニアドクター育成塾事業として、2019年から信州大学が採択されたものです。

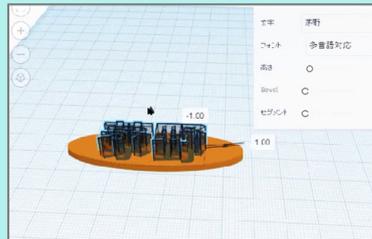
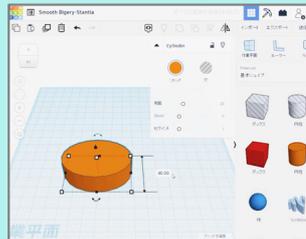
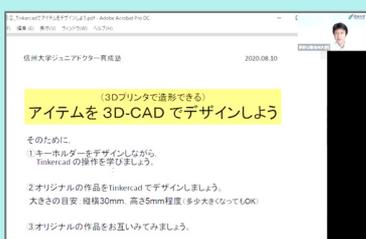
STEP1：第3回講座 アイデアスケッチ (オンライン)

神戸芸術工科大学の蛭田直准教授に講座を行っていただきました。蛭田准教授の講座ではアイデアスケッチの描き方だけではなく、アイデアの出し方についても扱っていただきました。今回は「目覚まし時計を便利にしよう」というテーマでアイデアを出しアイデアスケッチを描きました。受講生たちの中には、布団から出られない問題を布団の温度を変えて解決するなどといったアイデアが出ていました。今回の活動を今後のそれぞれの研究に生かしてほしいと思います。



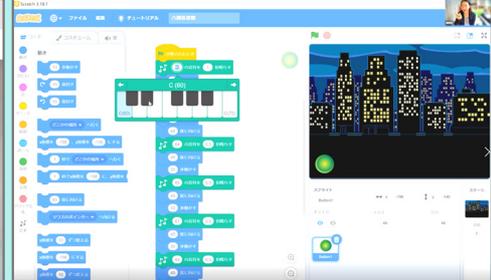
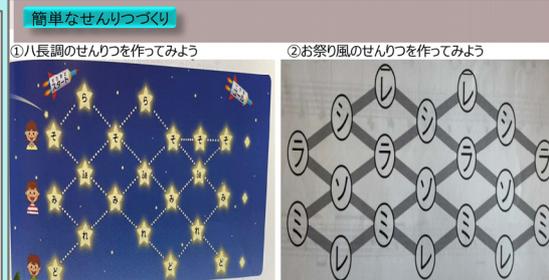
STEP1：第5回講座 3D-CAD (オンライン)

数学の茅野先生に「3D-CAD」の講義を行っていただきました。Tinkercadを使ってキーホルダーをデザインし、操作を学びました。受講生は、事前課題で文字が盛り上がっているデザインを作ってもらいましたが、講座では文字が溝になっているキーホルダーの3Dデータ作成にも挑戦しました。作りたい形をイメージしたときに、図形を足したり引いたりする発想で作るのがポイント！だと教えていただきました。実際にデザインしたオリジナル作品は、3Dプリンターで出力します。どんな作品ができるか楽しみです。



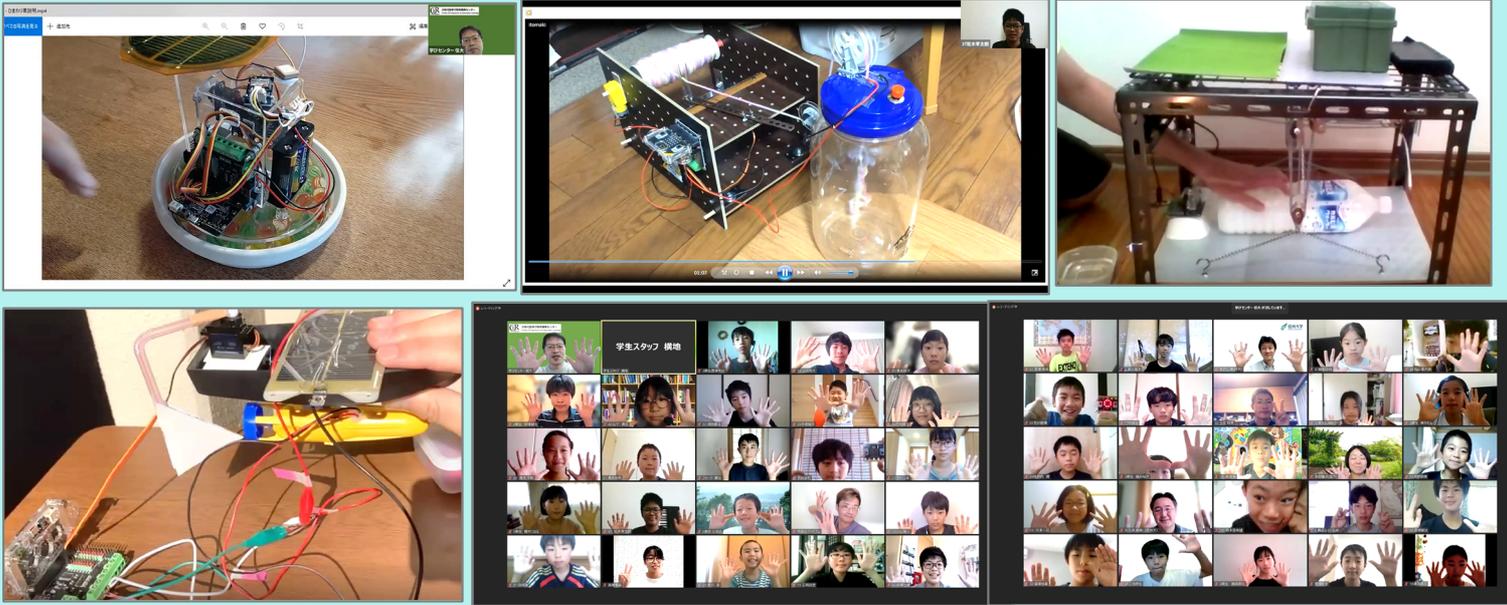
STEP1：第6回講座 プログラミングで音楽 (オンライン)

音楽の桐原先生にピアノの弾き語りをしていただきながら、音楽の基礎とプログラミングの講義を行っていただきました。最初に、音楽のきまり（音符・リズム・音階・和音・伴奏づけ）を教えてください、「スクラッチ」で音楽のプログラミングに挑戦しました。



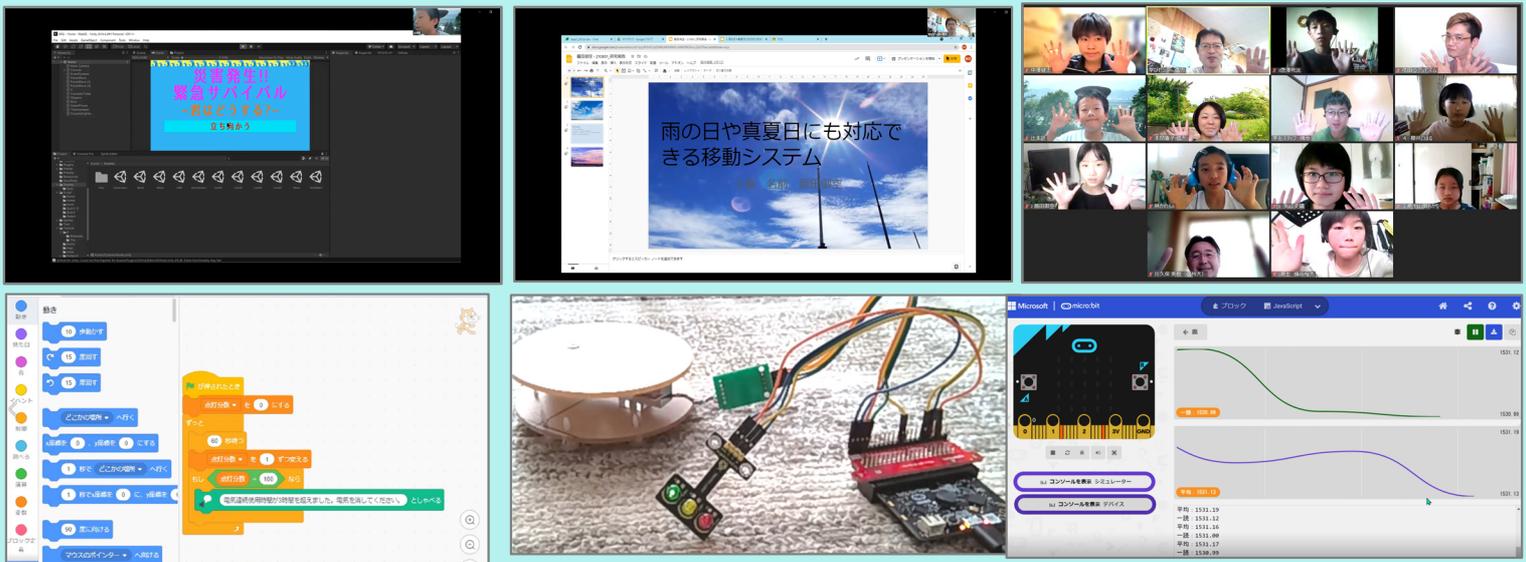
STEP1：第7回 コンテスト作品の作品紹介

第一段階のコンテスト作品をお互いに紹介し合いました。グループごとに各自の作品の紹介を行い、現在課題としていることなどを共有しました。各グループ代表者に全体でも紹介してもらいましたが、完成度が高い作品も多々で、驚きの声が上がっていました。他の受講生にアドバイスや質問をしたこと、先生方や他の受講生にアドバイスや質問を頂いたことを通して、相互に学び合うことができたと思います。作品完成が楽しみです。



STEP2：第8回 研究中間発表会

第二段階では研究の中間発表会を行いました。ダイナミックだったり、実際に使ってみたくなるような製作品開発など、研究・開発が進んでいる様子が確認できました。様々な工夫に、こちらとしても今後何か作るときに良い刺激を頂けたように感じます。また、受講生は先生方や企業の方、他の受講生等から意見をもらい、より良い研究になるように取り組み続けています。研究開発に全力で取り組んでいる受講生たちを応援しましょう。



編集後記 オンライン講座も順調に進んでいます。第1段階受講生のコンテスト作品の相互評価・第2段階受講生の研究の進行状況も中間報告会で報告されました。受講生一人ひとりの思いや考えがたちになるように応援したいと思います。

